

平成 29 年 6 月 14 日



中小企業が行う海外での販路開拓を支援！ 平成29年度「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」 の採択テーマ決定について

アジア低炭素化センターは、市内中小企業を対象に、海外での販路開拓につながる実証試験等に要する費用の一部を助成する「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」の採択テーマを決定いたしましたので、お知らせします。

この事業は、市内中小企業が所有する技術・製品の、海外でのニーズに合わせた現地での実証試験や、海外展開のビジネスモデル構築のためのF S（事業可能性調査）を支援することで、価格競争力・資金力・ブランド競争力を補い、海外での販路拡大を支援するものです。

4月7日（金）から5月10日（水）まで募集を行いました。審査の結果、実証枠1テーマ、F S枠2テーマの採択を決定したものです。

【お問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課 アジア低炭素化センター

担当課長：本島、担当係長：高塚（TEL：093-662-4020）

平成29年度北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

採択テーマ

区分	テーマ名	企業名	事業概要
実証 枠	オーストラリアにおける蛇口一体型浄水器の現地ユーザへの受容性実証試験	株式会社タカギ	オーストラリアにおいて、蛇口一体型浄水器のユーザ受容性に関する実証試験を行い、今後の海外モデルとなるダイレクトマーケティングの販路拡大を推進する。併せて現地で消費されるペットボトルウォーターをエコロジーな浄水器に切替えることで環境負荷を低減する。
FS 枠	マレーシア国の観光島における廃棄物の海面埋立最終処分事業の可能性調査	ひびき灘開発株式会社	マレーシア国の観光地のひとつである離島では、廃棄物最終処分場の逼迫と環境汚染などが問題となっている。 離島における適正な廃棄物処理・処分体制の構築を目的とし、海面最終処分場建設、埋立管理、跡地利活用までのモデル事業実施の可能性について調査を行う。
FS 枠	多機能盛土工法の中国での市場性についての調査	北九環境投資 有限公司	中国では昨年「土十条」と呼ばれる政府の汚染土壌対策に関する行動計画が発表され、汚染土壌対策業界は活性化している。北九州市立大学環境国際工学部が中心となって開発した画期的な汚染土壌の遮断型措置方法「多機能盛土工法」には、同社が中国で現地生産化に成功している重金属吸着剤が活用されており、本工法の中国でのニーズや導入可能性について調査を行う。